

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第4号 平成26年4月5日

秋山安打&好走塁 新記録1試合3三塁打！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
H	0	0	0	2	0	0	1	3
G	2	1	2	0	0	0	×	5

序盤のチャンスに打線繋がる！



4/5 (土) 清水ヶ丘公園野球場に向き、ど真ん中ホッターズとオープン戦を行った。最近天候不順が続いているだけに、今日の開催が危ぶまれる天候であったが、ゲームは無事開催する事が出来た。本日は後攻、そのマウンドには今期2戦目の光希が上がった。その立ち上がり、3連続ボールの後、1球ストライクが入ったが、結局先頭打者から出塁を許した。しかし、次打者は空三振、が、今度は四球と調子が良いのか？悪いのか？分からない内容、が、後続二人を連続三振に斬り、この回を無失点に抑えた。その裏の攻撃、先頭は倒れるも、次打者政司が四球を選択し出塁、3番哲也の二ゴロを野手がセカンドに暴投、二死一・二塁となった場面で、光希が3ボール目から甘く入ったボールを右中間に運ぶ3塁打で、一挙2走者が生還し、2点先制した。翌二回の光希は、立ち直りを見せ、三者凡退に斬る、その裏の攻撃、二死から久々の秋山が左前に運ぶ安打で出塁、そして最近振れている智が初球を左中間に運ぶ3塁打、一挙秋山がダイヤモンドを駆け抜け、ホームインし、3点目を挙げた。そして、3回の攻撃では、チーム新記録となる、1試合3本目の三塁打を哲也が決め、無死三塁、次打者は四球で選択、この場面に光希が、2球目、スクイズを決め4点目、更に相手野手の失策の間に5点目を挙げ、ゲーム展開を優位とした。が、翌4回、先頭を安打で出塁させ、次打者の投ゴロを光希が素早く二塁に送球したが、これが、外野後方まで転々とする悪送球の間に1失点、更に遊ゴロの間にホームインされ、この回2点を失った。その裏、相手投手が変わってから流れが変わる。何と残り3回を打者9人に片づけられた。その流れが変わった6回、最大のピンチが訪れた。この回先頭に四球を与え出塁、その後2つのWPで三塁まで走者は進む、が後続は空三振に斬り一死、しかし、後続2打者を連続四球で出塁させ、一死満塁、が、ここからが、チーム一丸踏ん張った、二死目となる打者を三ゴロに斬り、ホームホースアウト、そして次打者を投ゴロに斬り、このピンチを0点に抑えた。しかし、最終回の相手攻撃、またもや、先頭を四球で出塁、後続を空三振に斬り一死としたが、今日2安打目が長打になり、この長打で走者が生還し、1点失点。が、後続2打者を何とか斬り、今日のゲームを勝利した。

今日の勝因は、前半の打線の繋がり、得点圏での残塁はあったものの、取るべき得点が取れた事が、勝利の要因。しかしながら、今日の6与四球は、6安打と同等なので、仕掛けが上手いチームなら、大量失点に繋がっていたであろう。投手の球威・スピードは重要だが、それよりも大事なものは、制球という事が感じられれば、彼は更なる高みに行けるだろう。次戦は、今期初公式戦、この流れで是非とも勝利を目指そう！